

第 1 編 共通工 第 3 コンクリート工
3－5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 1 適用範囲

	改 正 後	現 行
誤	<p>1 適用範囲 (削る。)</p> <p>(1) 断面修復工（左官工法） コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（シェッド、大型カルバート等含む。） ・移動足場（高所作業車、橋梁点検車等含む）を使用した施工 (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(2) コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） 断面修復工（左官工法）により発生したコンクリート殻の人力による積込及び運搬に適用する。 なお、運搬距離が 60km を超える場合、自動車専用道路を使用する場合は適用範囲外とする。</p>	<p>1 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む。） (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>

	改 正 後	現 行
正	<p>1 適用範囲 (削る。)</p> <p>(1) 断面修復工（左官工法） コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（シェッド、大型カルバート等含む。） ・移動足場（高所作業車、橋梁点検車等含む。）を使用した施工 (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(2) コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） 断面修復工（左官工法）により発生したコンクリート殻の人力による積込及び運搬に適用する。 なお、運搬距離が 60km を超える場合、自動車専用道路を使用する場合は適用範囲外とする。</p>	<p>1 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む。） (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>

第 1 編 共通工 第 3 コンクリート工
3－5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 2 施工概要 （注）

	改 正 後	現 行
誤	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。 4. 処分費は別途計上とする。</p>	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 (新設) (新設)</p>

	改 正 後	現 行
正	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。 4. 処分費は別途計上とする。</p>	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 (新設) (新設)</p>

第1編 共通工 第3 コンクリート工
3-5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 3 機種の選定

誤		改正後	現行											
	3	機種の選定 コンクリート殻の運搬機械・規格は、次表を標準とする。		(新設)										
		表 3. 1 機種の選定												
		<table><tr><th>作業種別</th><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>積込み及び運搬</td><td>ダンプトラック</td><td>オンロード・ディーゼル 4t 積級</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr></table>	作業種別	名称	規格	単位	数量	摘要	積込み及び運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t 積級	台	1	
作業種別	名称	規格	単位	数量	摘要									
積込み及び運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t 積級	台	1										

	改 正 後	現 行										
正	<u>3 機種の選定</u> <u>コンクリート殻の運搬機械・規格は、次表を標準とする。</u>	(新設)										
	表 3. 1 機種の選定											
	<table><tr><th><u>作業種別</u></th><th><u>名称</u></th><th><u>規格</u></th><th><u>単位</u></th><th><u>数量</u></th><th><u>摘要</u></th></tr><tr><td><u>積込み及び運搬</u></td><td><u>ダンプトラック</u></td><td><u>オノロード・ディーゼル</u> <u>4t 積級</u></td><td><u>台</u></td><td><u>1</u></td><td></td></tr></table>		<u>作業種別</u>	<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘要</u>	<u>積込み及び運搬</u>	<u>ダンプトラック</u>	<u>オノロード・ディーゼル</u> <u>4t 積級</u>	<u>台</u>
<u>作業種別</u>	<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘要</u>							
<u>積込み及び運搬</u>	<u>ダンプトラック</u>	<u>オノロード・ディーゼル</u> <u>4t 積級</u>	<u>台</u>	<u>1</u>								

第1編 共通工 第3 コンクリート工
3-5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 4 施工歩掛 （3） コンクリート殻積込（断面修復工）

誤

	改 正 後	現 行						
	<u>(3) コンクリート殻積込（断面修復工）</u>	(新設)						
	<u>1) 日当り編成人員</u>							
	<u>コンクリート殻積込の日当り編成人員は、次表を標準とする。</u>							
	表 4. 5 日当り編成人員							
	<table><tr><td>名称</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>1</td></tr></table>		名称	単位	数量	普通作業員	人	1
	名称		単位	数量				
	普通作業員		人	1				
	<u>2) 日当り施工量</u>							
	<u>コンクリート殻積込の日当り施工量は、次表を標準とする。</u>							
	表 4. 6 日当り施工量							
<table><tr><td>作業種別</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>人力積込み</td><td>人</td><td>7.7</td></tr></table>	作業種別	単位	数量	人力積込み	人	7.7		
作業種別	単位	数量						
人力積込み	人	7.7						

正

	改 正 後	現 行						
正	<u>(3) コンクリート殻積込（断面修復工）</u>	(新設)						
	<u>1) 日当たり編成人員</u> コンクリート殻積込の <u>日当たり</u> 編成人員は、次表を標準とする。							
	表 4. 5 <u>日当たり編成人員</u>							
	<table><tr><td>名称</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>1</td></tr></table>		名称	単位	数量	普通作業員	人	1
	名称		単位	数量				
	普通作業員		人	1				
	<u>2) 日当たり施工量</u> コンクリート殻積込の <u>日当たり</u> 施工量は、次表を標準とする。							
	表 4. 6 <u>日当たり施工量</u>							
	<table><tr><td>作業種別</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>人力積込み</td><td>人</td><td>7.7</td></tr></table>		作業種別	単位	数量	人力積込み	人	7.7
	作業種別		単位	数量				
人力積込み	人	7.7						

誤

改

正

後

（4）コンクリート殻運搬（断面修復工）

1）運搬日数
ダンプトラック（オンロード・ディーゼル4t 積級）による10 m³当り運搬日数は、次表による。

表4. 7 殻運搬日数
(10 m³当り)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：無し								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下
運搬日数(日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06
運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下
運搬日数(日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44
運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下				
運搬日数(日)	3.90	4.40	4.95	5.50				

表4. 8 殻運搬日数
(10 m³当り)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：有り								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下
運搬日数(日)	0.11	0.22	0.33	0.44	0.61	0.78	0.94	1.11
運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下
運搬日数(日)	1.33	1.56	1.83	2.11	2.44	2.78	3.17	3.56
運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下		
運搬日数(日)	4.00	4.50	5.06	5.67	6.33	6.67		

(注) 1 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
2 D I D（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
3 運搬距離が 60km を超える場合は、別途考慮する。
4 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。

現

行

(新設)

正

改

正

後

(4) コンクリート殻運搬（断面修復工）

1) 運搬日数

ダンプトラック（オンロード・ディーゼル4t 積級）による10 m³当たり運搬日数は、次表による。

表4. 7 殻運搬日数

(10 m³当たり)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：無し								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下
運搬日数(日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06
運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下
運搬日数(日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44
運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下				
運搬日数(日)	3.90	4.40	4.95	5.50				

表4. 8 殻運搬日数

(10 m³当たり)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：有り								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下
運搬日数(日)	0.11	0.22	0.33	0.44	0.61	0.78	0.94	1.11
運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下
運搬日数(日)	1.33	1.56	1.83	2.11	2.44	2.78	3.17	3.56
運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下		
運搬日数(日)	4.00	4.50	5.06	5.67	6.33	6.67		

（注）1 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。

2 D I D（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。

3 運搬距離が 60km を超える場合は、別途考慮する。

4 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。

現

行

(新設)

	改 正 後	現 行																									
誤	(5) <u>コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）10 m³当日単価表</u>	(新設)																									
	<table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>1×10/D</td><td>表 4.5、表 4.6</td></tr><tr><td>ダンプトラック運転</td><td>オンロード・ディーゼル 4t 積級</td><td>日</td><td></td><td>表 3.1、表 4.7～表 4.8</td></tr><tr><td>諸雑費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		名称	規格	単位	数量	摘要	普通作業員		人	1×10/D	表 4.5、表 4.6	ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 4t 積級	日		表 3.1、表 4.7～表 4.8	諸雑費		式	1		計				
	名称		規格	単位	数量	摘要																					
	普通作業員			人	1×10/D	表 4.5、表 4.6																					
	ダンプトラック運転		オンロード・ディーゼル 4t 積級	日		表 3.1、表 4.7～表 4.8																					
	諸雑費			式	1																						
	計																										
<u>(注) D：日当日施工量</u>																											

正	改正後				現行		
	(5) コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）10 m ³ 当たり単価表				(新設)		
	名称	規格	単位	数量			摘要
	普通作業員		人	1×10/D			表 4.5、表 4.6
	ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 4t 積級	日				表 3.1、表 4.7～表 4.8
	諸雑費		式	1			
	計						
	(注) D：日当たり施工量						

	改 正 後	現 行
誤	<p>1 適用範囲</p> <p>盛土（路体盛土等）内の浸透水の排除を目的に設置する帯状の排水材（帯状シート・全透水型（立体網状体等））を設置、及びフィルター材（砕石等）を敷設する作業に適用する。なお、帯状の排水材の設置は水平排水材、フィルター材（砕石等）の敷設はフィルター層とする。</p> <p>（1） 適用出来る範囲</p> <p>① 水平排水材</p> <p>ア 現地発生土及び鉄丸釘等を用いて固定する方法を標準とし、排水材規格は幅 100mm 以上 600mm 以下、厚50mm 以下の場合。</p> <p>イ 帯状シート及び全透水型の場合。 ②</p> <p>フィルター層</p> <p>ア フィルター層（水平排水層）及びフィルター層（基盤排水層）の場合。</p> <p>イ フィルター層は厚 300mm 以上 500mm 以下の場合。</p> <p>（2） 適用出来ない範囲</p> <p>① 水平排水材</p> <p>ア 切盛境に設置する場合。</p> <p>イ 構造物背面のコンクリート面に設置する場合。</p> <p>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、水平排水材を設置する場合。</p> <p>エ 帯状排水材の全透水型（メッシュチューブ型）及び半透水型の場合。</p> <p>② フィルター層</p> <p>ア 排水層内に暗渠排水管を埋設する場合。</p> <p>イ 軟弱地盤処理工の場合。</p> <p>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、フィルター層を敷設する場合。</p>	(新設)

	改 正 後	現 行
正	<p><u>1 適用範囲</u></p> <p><u>盛土（路体盛土等）内の浸透水の排除を目的に設置する帯状の排水材（帯状シート・全透水型（立体網状体等））を設置、及びフィルター材（砕石等）を敷設する作業に適用する。なお、帯状の排水材の設置は水平排水材、フィルター材（砕石等）の敷設はフィルター層とする。</u></p> <p><u>（1） 適用できる範囲</u></p> <p><u>① 水平排水材</u></p> <p><u>ア 現地発生土及び鉄丸釘等を用いて固定する方法を標準とし、排水材規格は幅 100mm 以上 600mm 以下、厚50mm 以下の場合。</u></p> <p><u>イ 帯状シート及び全透水型の場合。 ②</u></p> <p><u>フィルター層</u></p> <p><u>ア フィルター層（水平排水層）及びフィルター層（基盤排水層）の場合。</u></p> <p><u>イ フィルター層は厚 300mm 以上 500mm 以下の場合。</u></p> <p><u>（2） 適用できない範囲</u></p> <p><u>① 水平排水材</u></p> <p><u>ア 切盛境に設置する場合。</u></p> <p><u>イ 構造物背面のコンクリート面に設置する場合。</u></p> <p><u>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、水平排水材を設置する場合。</u></p> <p><u>エ 帯状排水材の全透水型（メッシュチューブ型）及び半透水型の場合。</u></p> <p><u>② フィルター層</u></p> <p><u>ア 排水層内に暗渠排水管を埋設する場合。</u></p> <p><u>イ 軟弱地盤処理工の場合。</u></p> <p><u>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、フィルター層を敷設する場合。</u></p>	(新設)

	改 正 後	現 行																																				
誤	<p>3 施工歩掛</p> <p>（1） 水平排水材設置歩掛</p> <p>水平排水材の設置歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表 3． 1 水平排水材設置歩掛 (10m 当り)</p> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.04</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.13</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td>m</td><td>10.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <p>（注） 1 歩掛は、運搬距離 60m 程度までの現場内小運搬を含む設置作業であり、盛土は含まない。</p> <p>2 水平排水材のロス率（重合せ及び切断ロス）は、+0.02 として上表に含まれている。</p> <p>3 諸雑費は、ハンマーの損料及び鉄丸釘等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、固定方法に関わらず本諸雑費率を使用できる。</p> <p>（2） フィルター層敷設歩掛</p> <p>フィルター層敷設歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表 3． 2 フィルター層敷設歩掛 (10 m² 当り)</p> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>厚 300mm 以上 500mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.11</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.06</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.31</td></tr><tr><td>パ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>h</td><td>2.2</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td>m³</td><td>13</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <p>（注） 1 歩掛は、運搬距離 40m 程度までの現場内小運搬を含む敷設作業であり、掘削及び盛土は含まない。</p> <p>2 フィルター材のロス率（材料ロス）は、+0.3 として上表に含まれている。</p> <p>3 諸雑費は、締固め機械等の運転経費であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4 吸出し防止材が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.04	普 通 作 業 員	〃	0.13	排 水 材	m	10.2	諸 雑 費 率	%	0.3	名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.11	特 殊 作 業 員	〃	0.06	普 通 作 業 員	〃	0.31	パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2	フ ィ ル タ ー 材	m ³	13	諸 雑 費 率	%	0.3	(新設)
名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.04																																				
普 通 作 業 員	〃	0.13																																				
排 水 材	m	10.2																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				
名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.11																																				
特 殊 作 業 員	〃	0.06																																				
普 通 作 業 員	〃	0.31																																				
パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2																																				
フ ィ ル タ ー 材	m ³	13																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				

	改 正 後	現 行																																				
正	<div>3 施工歩掛</div> <div>(1) 水平排水材設置歩掛</div> <div>水平排水材の設置歩掛は、次表を標準とする。</div> <div>表 3. 1 水平排水材設置歩掛 (10m 当たり)</div> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.04</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.13</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td>m</td><td>10.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <div>(注) 1 歩掛は、運搬距離 60m 程度までの現場内小運搬を含む設置作業であり、盛土は含まない。</div> <div>2 水平排水材のロス率（重合せ及び切断ロス）は、+0.02 として上表に含まれている。</div> <div>3 諸雑費は、ハンマーの損料及び鉄丸釘等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、固定方法に関わらず本諸雑費率を使用できる。</div> <div>(2) フィルター層敷設歩掛</div> <div>フィルター層敷設歩掛は、次表を標準とする。</div> <div>表 3. 2 フィルター層敷設歩掛 (10 m³ 当たり)</div> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>厚 300mm 以上 500mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.11</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.06</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.31</td></tr><tr><td>パ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>h</td><td>2.2</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td>m³</td><td>13</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <div>(注) 1 歩掛は、運搬距離 40m 程度までの現場内小運搬を含む敷設作業であり、掘削及び盛土は含まない。</div> <div>2 フィルター材のロス率（材料ロス）は、+0.3 として上表に含まれている。</div> <div>3 諸雑費は、締固め機械等の運転経費であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</div> <div>4 吸出し防止材が必要な場合は、別途計上する。</div>	名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.04	普 通 作 業 員	〃	0.13	排 水 材	m	10.2	諸 雑 費 率	%	0.3	名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.11	特 殊 作 業 員	〃	0.06	普 通 作 業 員	〃	0.31	パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2	フ ィ ル タ ー 材	m ³	13	諸 雑 費 率	%	0.3	(新設)
名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.04																																				
普 通 作 業 員	〃	0.13																																				
排 水 材	m	10.2																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				
名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.11																																				
特 殊 作 業 員	〃	0.06																																				
普 通 作 業 員	〃	0.31																																				
パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2																																				
フ ィ ル タ ー 材	m ³	13																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				

誤

	改	正	後	現	行																																							
	4 単価表			(新設)																																								
	(1) 排水材設置 (水平排水材) 10m 当り 単価表																																											
	<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td></td><td>m</td><td></td><td>〃 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1	普 通 作 業 員		〃		〃	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計													
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																							
	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1																																							
	普 通 作 業 員		〃		〃																																							
	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)																																							
	諸 雑 費		式	1	〃																																							
	計																																											
(2) フィルター層敷設 10m3 当り 単価表																																												
<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³)・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td></td><td>〃 機械損料</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表 3.2 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³)・吊能力 2.9t	h		〃 機械損料	フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																								
土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2																																								
特 殊 作 業 員		〃		〃																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																								
バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³)・吊能力 2.9t	h		〃 機械損料																																								
フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																								
計																																												
(3) 機械運転単価表																																												
<table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³)・吊能力 2.9t</td><td>機－1</td><td></td></tr></table>					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³)・吊能力 2.9t	機－1																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																									
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³)・吊能力 2.9t	機－1																																										

正

	改 正 後	現 行																																							
4	<u>単価表</u>	(新設)																																							
	(1) 排水材設置（水平排水材）10m <u>当たり</u> 単価表																																								
	<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td></td><td>m</td><td></td><td>〃 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1	普 通 作 業 員		〃		〃	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計														
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																				
	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1																																				
	普 通 作 業 員		〃		〃																																				
	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)																																				
	諸 雑 費		式	1	〃																																				
	計																																								
	(2) フィルター層敷設 10m3 <u>当たり</u> 単価表																																								
<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td></td><td>〃 機械損料</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表 3.2 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	h		〃 機械損料	フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																					
土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2																																					
特 殊 作 業 員		〃		〃																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																					
バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	h		〃 機械損料																																					
フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																					
計																																									
(3) 機械運転単価表																																									
<table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t</td><td>機－1</td><td></td></tr></table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	機－1																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																						
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	機－1																																							

誤

改 正 後

(4) ポンプ運転~~管理~~歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転~~管理~~歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転~~管理~~歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
(削る。)	(削る。)	(削る。)
世話役	0.04	0.04
普通作業員	0.05	0.05

備考 1 ～ 4 (略)

現 行

(4) ポンプ運転歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
特殊作業員	0.14	0.17
(新設)	(新設)	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)

備考 1 ～ 4 (略)

正

(4) ポンプ運転~~管理~~歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転~~管理~~歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転~~管理~~歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
(削る。)	(削る。)	(削る。)
世話役	0.04	0.04
山林砂防工 (普通作業員)	0.05	0.05

備考 1～4 (略)

現行

(4) ポンプ運転歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
<u>特殊作業員</u>	<u>0.14</u>	<u>0.17</u>
(新設)	(新設)	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)

備考 1～4 (略)

	改 正 後	現 行
誤	<u>(2) 適用できない範囲</u> <u>① 雪寒仮囲いの屋根部材にパネル式のシステム上屋を使用する場合</u> <u>② Pタイプで設置高4 mを超える場合、及び小型構造物の場合</u>	(新設)

	改 正 後	現 行
正	<u>(2) 適用できない範囲</u> <u>① 雪寒仮囲いの屋根部材にパネル式のシステム上屋を使用する場合</u> <u>② Pタイプで設置高4 mを超える場合、及び小型構造物の場合</u>	(新設)

	改 正 後	現 行																		
誤	<u>(3) 仮囲い仮設材の費用</u> <u>雪寒仮囲いの仮囲い仮設材費用の積算は、次式による。仮設材費用には清掃等の簡易な整備作業を含む。仮囲い仮設材の費用＝(L1+L2X)×A (円)</u> <u>L1、L2：賃料係数(表 4. 3)</u> <u>X：仮設材供用月数(月)</u> <u>A：仮囲いの面積(m2)</u> <u>表4. 3 仮囲い仮設材の各賃料係数</u> <u>(1㎡当たり)</u> <table><tr><th>仮囲いのタイプ</th><th>L1</th><th>L2</th></tr><tr><td>Pタイプ</td><td>157</td><td>145</td></tr><tr><td>Wタイプ(枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>PWタイプ(枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>Wタイプ(枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr><tr><td>PWタイプ(枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr></table>	仮囲いのタイプ	L1	L2	Pタイプ	157	145	Wタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318	PWタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318	Wタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206	PWタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206	(新設)
仮囲いのタイプ	L1	L2																		
Pタイプ	157	145																		
Wタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318																		
PWタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318																		
Wタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206																		
PWタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206																		

	改 正 後	現 行																		
正	<u>(3) 仮囲い仮設材の費用</u> <u>雪寒仮囲いの仮囲い仮設材費用の積算は、次式による。仮設材費用には清掃等の簡易な整備作業を含む。仮囲い仮設材の費用＝(L1+L2X)×A (円)</u> <u>L1、L2：賃料係数(表 4. 3)</u> <u>X：仮設材供用月数(月)</u> <u>A：仮囲いの面積(m2)</u> <u>表4. 3 仮囲い仮設材の各賃料係数</u> <u>(1㎡当たり)</u> <table><tr><th>仮囲いのタイプ</th><th>L1</th><th>L2</th></tr><tr><td>Pタイプ</td><td>157</td><td>145</td></tr><tr><td>Wタイプ(枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>PWタイプ(枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>Wタイプ(枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr><tr><td>PWタイプ(枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr></table>	仮囲いのタイプ	L1	L2	Pタイプ	157	145	Wタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318	PWタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318	Wタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206	PWタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206	(新設)
仮囲いのタイプ	L1	L2																		
Pタイプ	157	145																		
Wタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318																		
PWタイプ(枠組足場部(S ₁))	449	318																		
Wタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206																		
PWタイプ(枠組足場以外(S ₂))	137	206																		

	改正後	現 行
誤	<p>③設置（再設置含む。） 大型土のうを使用機械の作業半径内に設置する作業をいう。なお、撤去した既設大型土のうを再設置する作業を含む。</p> <p>製作現場と設置現場が異なる場合、撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。</p> <p>④撤去 撤去後の中詰材排出を含む。なお、排出した中詰材の積込・運搬が必要な場合は、別途計上する。 中詰材排出後の袋材の運搬及び処分費が必要な場合は、別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p> <p>⑤撤去（再利用） 既設大型土のうを再利用することを目的とした、撤去、仮置き作業をいう。 撤去、仮置き作業後、大型土のうの設置を行う場合は、別途「設置（再設置含む）」を計上する。 撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p>	(新設)

	改正後	現 行
正	<p>③設置（再設置含む。） 大型土のうを使用機械の作業半径内に設置する作業をいう。なお、撤去した既設大型土のうを再設置する作業を含む。</p> <p>製作現場と設置現場が異なる場合、撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。</p> <p>④撤去 撤去後の中詰材排出を含む。なお、排出した中詰材の積込・運搬が必要な場合は、別途計上する。 中詰材排出後の袋材の運搬及び処分費が必要な場合は、別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p> <p>⑤撤去（再利用） 既設大型土のうを再利用することを目的とした、撤去、仮置き作業をいう。 撤去、仮置き作業後、大型土のうの設置を行う場合は、別途「設置（再設置含む。）」を計上する。 撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p>	(新設)

誤

機種の選定		
工 種	機 械 名	規 格
製作・設置	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t
	ラフテレーンクレーン	油圧圧縮ジブ型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 25t 吊
製 作	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t
設置（再設置含む） 撤 去 撤去（再利用） 移設（撤去・再設置）	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t
	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊

備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2 製作・設置における設置に使用する機械は、図3－1によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。
3 設置（再設置含む）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）の機械は、図3－2によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

機種の選定			
工 種	作業半径	機 械 名	規 格
(新設)			
製 作	二	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)
設 置 撤 去	6m以下	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)
	6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊

備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2 バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。
3 現場条件により、上記により難い場合は別途考慮する。

正

改 正 後			現 行			
機種を選定			機種を選定			
工 種	機 械 名	規 格	工 種	作業半径	機 械 名	規 格
製作・設置	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t	(新設)			
	ラフテレーンクレーン	油圧圧縮ジブ型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 25t 吊				
製 作	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t	製 作	二	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)
設置（再設置含む。） 撤 去 撤去（再利用） 移設（撤去・再設置）	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	設 置 撤 去	6m以下	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)
	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第 3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊		6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第 3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊
備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2 製作・設置における設置に使用する機械は、図 3－1 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。 3 設置（再設置含む。）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）の機械は、図 3－2 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。			備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2 バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。 3 現場条件により、上記により難い場合は別途考慮する。			

	改正後	現 行
誤	<div>図3－2 機種の選定 設置（再設置含む。）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）</div> <div><div><div>設置・撤去高さ（m）</div><div><div>2m超</div><div>2m以下</div><div>0m</div><div>6m以下</div><div>6m超</div><div>20m以下</div><div>20m超</div><div>-3m以上</div><div>-3m未満</div></div><div><div>ラフテレーンクレーン25t吊</div><div>バックホウ(クレーン機能付き) 山積0.8m3吊能力2.9t</div></div><div><div>適用範囲外</div><div>適用範囲外</div></div><div>作業半径 (m)</div></div></div> <div><div>備考 1 作業半径は、機械の旋回中心から吊りフックまでの水平距離とする。</div><div>2 設置・撤去高さは、バックホウ（ラフテレーンクレーン）の設置面をゼロとしたときの大型土のうの設置面の高さとする。</div><div>3 機械を水平で安定した地盤に設置した場合の適用範囲を示す。</div><div>4 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。</div></div>	(新設)

	改正後	現 行
正	<div>図3－2 機種の選定 設置（再設置含む。）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）</div> <div><div><div>設置・撤去高さ（m）</div><div><div>2m超</div><div>2m以下</div><div>0m</div><div>6m以下</div><div>6m超</div><div>20m以下</div><div>20m超</div><div>-3m以上</div><div>-3m未満</div></div><div><div>ラフテレーンクレーン25t吊</div><div>バックホウ(クレーン機能付き) 山積0.8m3吊能力2.9t</div></div><div><div>適用範囲外</div><div>適用範囲外</div></div><div>作業半径 (m)</div></div></div> <div><div>備考 1 作業半径は、機械の旋回中心から吊りフックまでの水平距離とする。</div><div>2 設置・撤去高さは、バックホウ（ラフテレーンクレーン）の設置面をゼロとしたときの大型土のうの設置面の高さとする。</div><div>3 機械を水平で安定した地盤に設置した場合の適用範囲を示す。</div><div>4 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。</div></div>	(新設)

誤

(4)

施工歩掛

1)

日当り編成人員は、次表を標準とする。

編成人員

(日当たり)

名	称	単位	製作・設置	製作	設置 (再設置含む)	撤去	撤去 (再利用)	移設 (撤去・再設置)
世	話	役	人	1	1	1	1	1
特	殊	作	員	〃	1	1	1	1
山	林	砂	防	工	(普通作業員)	〃	1	1

(削る。)

2)

日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
製作・設置	袋	34(49)
製 作	〃	69
設置(再設置含む)	〃	77(66)
撤 去	〃	115(106)
撤去(再利用)	〃	147(136)
移設(撤去・再設置)	〃	69(62)

備考

ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

3)

諸雑費

諸雑費は、製作・設置、製作の作業に必要な製作枠の損料、スコップ、ワイヤーロープ等の費用、設置(再設置含む)、撤去、撤去(再利用)、移設(撤去・再設置)の作業に必要なワイヤーロープ等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑费率

(%)

作業種別	諸雑费率
製作・設置	1 (2)
製 作	2
設置(再設置含む)	0.2 (0.2)
撤 去	0.4 (0.4)
撤去(再利用)	0.5 (0.5)
移設(撤去・再設置)	0.2 (0.2)

備考

ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

(5)

施工歩掛

1)

製作、設置、撤去作業を単独で行う場合の歩掛は以下とする。

編成人員

(日当たり)

名	称	単 位	製 作	設 置	撤 去			
世	話	役	人	1	1			
特	殊	作	員	〃	1			
山	林	砂	防	工	(普通作業員)	〃	1	1

備考

1

上表は、横取り作業(12mまで、制作現場～仮置場)を含む。

2

制作現場と設置現場が異なる場合は、積込み・荷卸し・運搬等必要な費用を別途計上する。

3

撤去には、中詰材排出を含む。

2)

日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
(新設)		
製 作	袋	62
設 置	〃	86(80)
撤 去	〃	144(134)
(新設)		
(新設)		

備考

1

ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

2

袋材の処分費及び残土処理費が必要な場合は別途計上する。

3)

諸雑費

諸雑費は、製作枠等の費用であり、製作の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑费率

(%)

諸雑费率	1
------	---

正

(4)

施工歩掛

1)

日当たり編成人員は、次表を標準とする。

編成人員

(日当たり)

名	称	単位	製作・設置	製作	設置 (再設置含む。)	撤去	撤去 (再利用)	移設 (撤去・再設置)
世	話	役	人	1	1	1	1	1
特	殊	作	業	員	〃	1	1	1
山	林	砂	防	工	(普通作業員)	〃	1	1

(削る。)

2)

日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
製作・設置	袋	34(49)
製 作	〃	69
設置(再設置含む。)	〃	77(66)
撤 去	〃	115(106)
撤去(再利用)	〃	147(136)
移設(撤去・再設置)	〃	69(62)

備考 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

3)

諸雑費

諸雑費は、製作・設置、製作の作業に必要な製作枠の損料、スコップ、ワイヤーロープ等の費用、設置(再設置含む。)、撤去、撤去(再利用)、移設(撤去・再設置)の作業に必要なワイヤーロープ等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率

(%)

作業種別	諸雑費率
製作・設置	1 (2)
製 作	2
設置(再設置含む。)	0.2 (0.2)
撤 去	0.4 (0.4)
撤去(再利用)	0.5 (0.5)
移設(撤去・再設置)	0.2 (0.2)

備考 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

(5)

施工歩掛

1)

製作、設置、撤去作業を単独で行う場合の歩掛は以下とする。

編成人員

(日当たり)

名	称	単 位	製 作	設 置	撤 去				
世	話	役	人	1	1	1			
特	殊	作	業	員	〃	1	1		
山	林	砂	防	工	(普通作業員)	〃	1	1	—

備考 1 上表は、横取り作業(12mまで、制作現場～仮置場)を含む。

2 制作現場と設置現場が異なる場合は、積み込み・荷卸し・運搬等必要な費用を別途計上する。

3 撤去には、中詰材排出を含む。

2)

日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
(新設)		
製 作	袋	62
設 置	〃	86(80)
撤 去	〃	144(134)
(新設)		
(新設)		

備考 1 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

2 袋材の処分費及び残土処理費が必要な場合は別途計上する。

3)

諸雑費

諸雑費は、製作枠等の費用であり、製作の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率

(%)

諸雑費率	7
------	---

第1編 共通工 第8 仮設工
8－9 大型土のう工 (5) 単価表

	改正後	現 行
誤	<u>(6)</u> 単価表	(6) 単価表

	改正後	現 行
正	<u>(5)</u> 単価表	<u>(6)</u> 単価表

第1編 共通工 第8 仮設工
8－9 大型土のう工 (5) 単価表 4) 大型土のう設置（再設置含む。）10 袋当たり単価表

誤

改正後

4) 大型土のう設置 (再設置含む) 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(4) - 1) (4) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	日	10/D	(4) - 2)
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(4) - 2)
諸 雑 費		式	1	(4) - 3)

備考 1 D：日当たり施工量
2 大型土のうを設置する機械は、図3－2によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

現 行

4) 大型土のう設置 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(5) - 1) (5) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク レ ー ン 仕 様)	超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)	日	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m 以下の場合
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m を超え 20m 以下の場合
諸 雑 費		式	1	(新設)

備考 D：日当たり施工量

正

改正後

4) 大型土のう設置 (再設置含む。) 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(4) - 1) (4) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	日	10/D	(4) - 2)
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(4) - 2)
諸 雑 費		式	1	(4) - 3)

備考 1 D：日当たり施工量
2 大型土のうを設置する機械は、図 3 - 2 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

現 行

4) 大型土のう設置 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(5) - 1) (5) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク レ ー ン 仕 様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)	日	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m 以下の場合
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m を超え 20m 以下の場合
諸 雑 費		式	1	(新設)

備考 D：日当たり施工量

改 正 後					現 行			
誤	8) 機械運転単価表				6) 機械運転単価表			
	機械名	規 格	適用単価表	指定事項	機械名	規 格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→63</u> <u>賃料数量→1.28</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u>	バックホウ (クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→104</u> <u>賃料数量→1.39</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u>
		標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	機－28	<u>〔設置(再設置含む)〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→99</u> <u>賃料数量→1.23</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→101</u> <u>賃料数量→1.21</u> <u>〔撤去(再利用)〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.38</u> <u>〔移設(撤去・再設置)〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.52</u>				<u>〔設置〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→94</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→78</u> <u>賃料数量→1.266</u>

	改正後				現行			
正	8) 機械運転単価表				6) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→63</u> <u>賃料数量→1.28</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u>	バックホウ (クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→104</u> <u>賃料数量→1.39</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u>
		標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	機－28	<u>〔設置(再設置含む。)]〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→99</u> <u>賃料数量→1.23</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→101</u> <u>賃料数量→1.21</u> <u>〔撤去(再利用)]〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.38</u> <u>〔移設(撤去・再設置)]〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.52</u>				<u>〔設置〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→94</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→78</u> <u>賃料数量→1.266</u>

	改正後				現行			
誤	(3) 機械運転単価表				(3) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.54	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.54
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.56	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.56
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45

	改正後				現行			
正	(3) 機械運転単価表				(3) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械損料数量→1.54	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.54
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械損料数量→1.56	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.56
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45

誤

改 正 後			
② 施工歩掛 天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。			
表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）			
名称	単位	数量	
世 話 役	人	0.9	
と び 工	〃	3.2	
山 林 砂 防 工 （ 普 通 作 業 員 ）	〃	1.0	
諸 雑 費 率	%	9	
(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>手すり仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ）</u> 等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <u>なお、諸雑費には、供用中の手すり仮設材の損料を含むものとする。</u>			
表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）			
名称	単位	数量	
世 話 役	人	2.7	
と び 工	〃	6.2	
山 林 砂 防 工 （ 普 通 作 業 員 ）	〃	5.5	
諸 雑 費 率	%	20	
(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>足場仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板）</u> 、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <u>なお、諸雑費には、供用中の足場仮設材の損料を含むものとする。</u>			

現 行		
② 施工歩掛 天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。		
表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）		
名称	単位	数量
世 話 役	人	1.3
と び 工	〃	3.4
(新設)		
諸 雑 費 率	%	8
(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>手すり、単管パイプ、クランプ</u> 等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。		
表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）		
名称	単位	数量
世 話 役	人	2.7
と び 工	〃	5.8
山 林 砂 防 工 （ 普 通 作 業 員 ）	〃	5.4
諸 雑 費 率	%	23
(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>手すり、単管パイプ、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル</u> 等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。		

正

改正後

② 施工歩掛

天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。

表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世 話 役	人	0.9
と び 工	〃	3.2
山林砂防工 （普通作業員）	〃	1.0
諸 雑 費 率	%	9

(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、手すり仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、諸雑費には、供用中の手すり仮設材の損料を含むものとする。

表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世 話 役	人	2.7
と び 工	〃	6.2
山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.5
諸 雑 費 率	%	20

(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、足場仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板）、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、諸雑費には、供用中の足場仮設材の損料を含むものとする。

現 行

② 施工歩掛

天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。

表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世 話 役	人	1.3
と び 工	〃	3.4
(新設)		
諸 雑 費 率	%	8

(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、手すり、単管パイプ、クランプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世 話 役	人	2.7
と び 工	〃	5.8
山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.4
諸 雑 費 率	%	23

(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、手すり、単管パイプ、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

誤

改 正 後					現 行					
	(2) 敷均し (機械) 100 m ² 当たり単価表				(1) 砂利舗装工 (機械) 100 m ² 当たり単価表					
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
	世 話 役		人		表 4. 4	世 話 役		人		表 4. 2
	普 通 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃
	舗 設 材		m ³		式 5. 1	舗 設 材		m ³		式 5. 1
	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型 超低騒音型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	h		表 4. 4	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.28 m ³ (平積 0.20 m ³)	h		表 4. 2
	小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	クローラ型 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13 m ³ (平積 0.10 m ³)	日		〃	小 型 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.13 m ³ (平積 0.10 m ³)	日		〃
	(削る。)	(削る。)	(削る。)		(削る。)	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第 3 次基準値) コンバインド型 3～4t	〃		表 4. 4 必要に応じ計上
	振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		表 4. 8	〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		〃
	計					計				

正

改正後

(2)敷均し（機械）100 m²当たり単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人		表4. 4
普 通 作 業 員		〃		〃
舗 設 材		m ³		式5. 1
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	後方超小旋回型 超低騒音型 排出ガス対策型（2014 年規制） 山積 0.45 m ³ （平積 0.35 m ³ ）	h		表4. 4
小 型 バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	クローラ型 排出ガス対策型（第2 次基準値） 山積 0.13 m ³ （平積 0.10 m ³ ）	日		〃
（削る。）	（削る。）	（削る。）		（削る。）
振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		表4. 8 必要に応じ計上
計				

現行

(1)砂利舗装工（機械）100 m²当たり単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人		表4. 2
普 通 作 業 員		〃		〃
舗 設 材		m ³		式5. 1
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2 次基準値）クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.20 m ³ ）	h		表4. 2
小 型 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2 次基準値）クローラ型 山積 0.13 m ³ （平積 0.10 m ³ ）	日		〃
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型（第3 次基準値）コンバインド型 3～4t	〃		表4. 4 必要に応じ計上
〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		〃
計				

	改正後	現行
誤	<p>(2) 施工概要</p> <p>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>(2) 施工概要</p> <p>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>

	改 正 後	現 行
正	<div>(2) 施工概要</div> <div><pre>graph TD A[機材搬入] --> B{橋台・橋脚の高さ2m以上} B -- Yes --> C[登り桟橋工] B -- No --> D[主桁仮置] C --> D D --> E[主桁搬入] E --> F[主桁仮置] F --> G[地組工] G --> H[主桁架設] H --> I[足場設置] I --> J{第三者に危害を及ぼす恐れがある} J -- Yes --> K[防護工設置] J -- No --> L[ボルト本締] K --> L L --> M[支承据付] M --> N{合成床版の場合} N --> O[落橋防止装置取付] O --> P[合成床版工] P --> Q[足場又は防護工撤去] Q --> R[機材搬出]</pre></div> <div>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</div>	<div>(2) 施工概要</div> <div><pre>graph TD A[機材搬入] --> B{橋台・橋脚の高さ2m以上} B -- Yes --> C[登り桟橋工] B -- No --> D[地組工] C --> E[支承仮置] E --> F[主桁架設] F --> G[足場設置] G --> H{第三者に危害を及ぼす恐れがある} H -- Yes --> I[防護設置] H -- No --> J[ボルト本締] I --> J J --> K[支承据付] K --> L{合成床版の場合} L --> M[落橋防止装置取付] M --> N[合成床版工] N --> O[足場又は防護工撤去] O --> P[機材搬出]</pre></div> <div>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</div>

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 土工 ⑨ 人力による切土整形

	改正後	現行
誤	⑨ 人力による築立（土羽）整形	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (砂・砂質土、粘性土、礫質土、岩塊・玉石、軟岩（Ⅰ）A)	
	作業日当たり標準作業量	
正	61m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (砂・砂質土、粘性土、礫質土、岩塊・玉石、軟岩（Ⅰ）A)	
	作業日当たり標準作業量	
誤	30m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (軟岩（Ⅰ）B、軟岩（Ⅱ）、中硬岩、硬岩)	
	作業日当たり標準作業量	
正	61m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (砂・砂質土、粘性土、礫質土、岩塊・玉石、軟岩（Ⅰ）A)	
	作業日当たり標準作業量	
誤	30m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (軟岩（Ⅰ）B、軟岩（Ⅱ）、中硬岩、硬岩)	
	作業日当たり標準作業量	

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 土工 ⑭ 骨材再生工（自走式） 自走式破碎機設置・撤去工

	改正後	現行
誤	⑭ 骨材再生工（自走式）	(新設)
	作業名	
	設置	
	撤去	
正	0.29日/回	(新設)
	作業名	
	自走式破碎機設置・撤去工	
	作業日当たり標準作業量	
誤	3.4回/日	(新設)
	作業名	
	設置又は撤去	
	作業日当たり標準作業量	
正	1.7回/日	(新設)
	作業名	
	設置・撤去	
	作業日当たり標準作業量	

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（Ⅰ）（法面工等） ⑳ コンクリート吹付工

	改正後	現行
誤	㉑ コンクリート吹付工	(新設)
	作業名	
	吹付厚	
	作業日当たり標準作業量	
正	106m2/日	(新設)
	作業名	
	コンクリート吹付工	
	作業日当たり標準作業量	
誤	70m2/日	(新設)
	作業名	
	コンクリート吹付工	
	作業日当たり標準作業量	
正	53m3/日	(新設)
	作業名	
	コンクリート吹付工	
	作業日当たり標準作業量	

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ⑪ 基礎・裏込・中詰 (砕石・栗石) 工 (人力施工) 裏込 (人力施工)

	改 正 後			現 行			
誤	⑪ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 裏込（人力施工）			（新設）			
	作業名	かき込み・敷き均し				築立て・敷並べ	
		切込砂利・クラッシャー等	栗石・割栗石			栗石・割栗石	
	裏込	(5.0m3/日)	(4.3m3/日)			1.8m3/日	
		4.5m3/日	3.7m3/日				

改 正 後				現 行	
正	⑪ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 裏込（人力施工）			（新設）	
	作業名	かき込み・敷き均し			築立て・敷並べ
		切込砂利・クラッシャー等	栗石・割栗石		
	裏込	(5.0m3/日)	(4.3m3/日)		1.6m3/日
		4.5m3/日	3.7m3/日		

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ⑫ 基礎・裏込・中詰 (砕石・栗石) 工 (人力施工) 中詰 (人力施工)

	改 正 後		現 行
誤	⑫ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 中詰（人力施工）		（新設）
	作業名	築立て・敷並べ	
		栗石・割栗石	
	基礎	1.6m3/日	

	改 正 後		現 行
正	⑫ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 中詰（人力施工）		（新設）
	作業名	築立て・敷並べ	
		栗石・割栗石	
	中詰	1.6m3/日	

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ⑬ 落石防止網 (ロックネット) 設置工 簡易ケーブルクレーン (1.0 t 吊) 設置・撤去

	改 正 後		現 行	
誤	② 落石防止網（ロックネット）設置工 簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去			（新設）
	作業名	作業日当たり標準作業量		
	簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去	とび工 1 人・山林砂防工 1 人	とび工 10 人・山林砂防	
		編成の場合	工 10 人編成の場合	
		0.05 基/日	0.5m3/日	

	改 正 後		現 行
正	②③ 落石防止網（ロックネット）設置工 簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去		（新設）
	作業名	作業日当たり標準作業量	
	簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去	0.5 基/日	

第4編 作業日当たり標準作業量
2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ③⑦ 井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工

	改 正 後				現 行			
誤	③⑦ 井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工				(新設)			
	作業名	作業日当たり標準作業量						
		井桁ブロック控長 (m)						
		0.7 以上 1.3 未満	1.3 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満				
	現場打基礎コンクリート打設工 (人力打設)	31m2/日	3m2/日	4m2/日				

	改 正 後				現 行			
正	③⑦ 井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工				(新設)			
	作業名	作業日当たり標準作業量						
		井桁ブロック控長 (m)						
		0.7 以上 1.3 未満	1.3 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満				
	現場打基礎コンクリート打設工 (人力打設)	3m3/日	3m3/日	4m3/日				

第4編 作業日当たり標準作業量
2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ③⑧ 井桁ブロック土留工 圧送管組立・撤去工

	改 正 後			現 行		
誤	③⑧ 井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工			(新設)		
	作業名	作業日当たり標準作業量				
		組立労務	撤去労務			
		圧送管組立・撤去	38m/日 50m/日			

	改 正 後			現 行	
正	③⑧ 井桁ブロック土留工 圧送管組立・撤去工			(新設)	
	作業名	作業日当たり標準作業量			
		組立労務	撤去労務		
		圧送管組立・撤去	38m/日 50m/日		

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ④④ かご工 (B) 機械中詰

		改 正 後					現 行	
正	④④ かご工（B） 機械中詰						(新設)	
	作業名	網目 (cm)	高さ (cm)	幅 (cm)	長さ (m)	作業日当たり標準作業量		
	かご工 (B) 機械中詰	13	50	120	2	4.8 枚/日		
					3	3.2 枚/日		
					4	2.5 枚/日		
		13	60	120	2	4.2 枚/日		
					3	2.9 枚/日		
					4	2.2 枚/日		

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ④5 かご工 (B) 人力中詰

		改 正 後					現 行	
正	④⑤ かご工（B） 人力中詰						(新設)	
	作業名	網目 (cm)	高さ (cm)	幅 (cm)	長さ (m)	作業日当たり標準作業量		
	かご工 (B) 人力中詰	13	50	120	2	2.4 枚/日		
					3	1.6 枚/日		
					4	1.3 枚/日		
		13	60	120	2	2.1 枚/日		
					3	1.4 枚/日		
					4	1.1 枚/日		

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ④⑤ かが枠工

	改 正 後				現 行	
誤	④⑥ かが枠工				(新設)	
	作業名	幅 (cm)	長さ (cm)	作業日当たり標準作業量		
	かが枠工	80	詰石	41m/日		
			詰土	45m/日		
		120	詰石	31m/日		
			詰土	35m/日		

	改 正 後				現 行	
正	④⑥ かが枠工				(新設)	
	作業名	幅 (cm)	材料	作業日当たり標準作業量		
	かが枠工	80	詰石	41m/日		
			詰土	45m/日		
		120	詰石	31m/日		
			詰土	35m/日		

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ⑤③ 目地・止水板設置工 目地板設置

	改 正 後		現 行	
誤	53 目地・止水板設置工 目地板設置		(新設)	
	作業名	作業日当たり標準作業量		
	目地板設置	7.6m3/日		

	改 正 後		現 行	
正	53 目地・止水板設置工 目地板設置		(新設)	
	作業名	作業日当たり標準作業量		
	目地板設置	9m2/日		